

【テーマ設定型寄附】

—全13事業—

寄附者様がテーマを設定した趣旨

株式会社伊藤園 様 テーマ：奈良県内の自然・環境・文化財の保全・活用事業

奈良県は、世界に誇る多くの歴史文化遺産と、それらと一体をなす歴史的風土豊かな自然環境に恵まれた地であり、その美しい景観を守り育てていかなければなりません。伊藤園では、そのために県民・事業者・行政の適切な役割分担と協働を行い、地域を活性化し、豊かな生活を引き継いでいく為に支援キャンペーンを行います。奈良県で本キャンペーンについて広く周知し、奈良県内の自然・環境・文化財の保全や活用、およびこの事業に伴う地域活性化への貢献についての認知・理解促進に取り組み、支援への賛同を募ります。

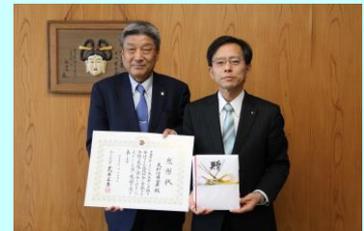


▲H31年4月 寄附受領式

大和信用金庫 様 テーマ：大和川水系の水環境改善活動

奈良県民の憩いの場であるべき大和川は、全国1級河川ランキングワーストを脱却し、水質の改善が進んでいます。大和信用金庫は、地域社会とともに歩む地域の金融機関として、大和川のBOD（生物化学的酸素要求量）値の改善度合いに応じて金利を上乗せする「大和川定期預金」の取扱いなど、水質改善に向けた幅広い活動を行っています。

今回、大和川水系の水環境改善に取り組む団体の活動を支援することで、さらなる環境改善に役立てていただきたいと考えています。



▲H31年3月 寄附受領式

イオングループ 様 テーマ：奈良の文化遺産やまちなみの保全事業

(イオンリテール株式会社様、株式会社山陽マルナカ様、株式会社ダイエー様)

私たちイオングループは、「お客様を原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」という基本理念のもと、様々な環境・社会貢献活動に取り組んでいます。奈良県には、文化遺産をはじめ、近世の面影を残す歴史的なまちなみを有する地区も数多く存在します。

今回、「古都ならWAON」カードの利用金額の一部を寄附し、奈良の文化遺産やまちなみの保全活動、及びそれらを活用した地域の活性化活動を支援することで、「古都なら」の保全・活性化に役立てていただきたいと思ひます。



▲R1年6月 寄附受領式

奈良県青少年育成ボランティア協会 様 テーマ：地域の子ども・若者の健全育成事業

地域のグループや団体等による、子どもや若者を対象とした活動や子どもと大人が一緒になって取り組む活動、あるいは青少年による地域貢献活動などで、地域で子どもを育てる力の向上や青少年の健全育成に繋がる取り組みに役立てていただきたいと思ひます。

※寄附受領日は平成29年4月19日。解散に伴う寄附。

山の辺の道「奈良道」沿道旧跡説明板設置事業

補助金額 300,000円

補助事業の背景と目的

我が国最古の道と称されている、山の辺の道を訪れる多くの人々、及び地元の住民に対し、この沿道に存在する旧跡について説明することにより、より一層文化遺産に対する理解と愛着を深めていただくために実施しました。

補助事業の実施内容

説明板5基を以下のとおり設置しました。

- ①鹿野園の由来と、梵福寺跡
- ②横井廃寺（藤原寺跡）
- ③山村廃寺（ドドコロ廃寺）
- ④帯解黄金塚古墳と田中塚古墳
- ⑤椿尾上城

規格＝高さ60cm・巾90cm、アルミ複合板、2本脚付



▲ 横井廃寺跡

補助事業の成果と今後の活動に向けて

説明板の設置により、生涯学習の場としても一層脚光を浴びてくるものと期待しており、児童・生徒の遠足にも取り入れていただくよう、近隣の学校にご案内しております。



▲ 椿尾上城跡

寄附者からの声

寄附者： 株式会社伊藤園
 弊社の寄附の趣旨に賛同し、歴史にゆかりのある「奈良道」を今後も守っていただけるよう期待いたします。

団体名	山の辺の道「奈良道」を守る会	【団体の設立経緯・目的】
所在地	奈良市藤原町584	山の辺の道桜井・奈良間の内整備の遅れている奈良区間を整備し来訪者の増加に繋げるべく、平成20年に設立。
活動の様子 (山の辺の道 (まほろば古道))		【団体の主な活動の内容】
		1 環境整備・景観保全事業 (沿道整備・案内板の設置等) 2 啓発・誘致促進事業

能登川水源の春日山、高畑流域の自然環境・清流保全と
 ホタル育成環境の再生、地域協力、親子世代間交流事業

補助金額 300,000円

補助事業の背景と目的

能登川は、“能登川の^{みなろこ}水底さへに照るまでに御笠の山はさきにけるかも”と万葉集にも詠われています。春日山原生林の生き物、植物、花の観察と記録、能登川のホタル育成環境の記録の改訂版を冊子として発行、地域の学校、社会福祉協議会の皆様に配布して自然環境保全の啓蒙をはかりました。

補助事業の実施内容

能登川の水質測定・水生生物観察：滝坂入り口、飛鳥中南プロムナード、能登川橋下流、紀寺住宅北側、pHは上流6.8、下流7.4、上流から下流までサワガニ生息で清流が保たれていました。

能登川の紀寺住宅北側の清掃：飛鳥地域社会福祉協議会の皆様と協働で実施、燃えるゴミ26袋、金属5袋、プラスチック1袋、アシ・芝の束27束を河川等の美化活動を行う奈良市アダプトプログラムで回収しました。

花散歩・能登川観察：地球温暖化気候変動の影響による原生林の倒木や能登川河川敷の破壊の様子の観察記録「春日山のヒミツ」、「ホタルの能登川」の改訂版を作成、地域に寄贈しました。



▲ 飛鳥社協との協働による紀寺能登川清掃

補助事業の成果と今後の活動に向けて

能登川のホタル環境保全活動によりホタル観賞会を実施できる清流が保たれています。観察記録の冊子の配布で親子、地域の方々の春日山原生林、能登川水質保全に共感を得られるようになり、協力いただけるようになりました。また飛鳥小学校の生徒グループの総合学習・奈良科で地域の宝物、能登川研究に協力し、世代を継承する成果が得られました。

「自然は一番の先生です」に共感いただける親子の皆様のごさつやまっこ工房活動および森林体験活動等で子どもさんたちがたくましく成長しています。



▲ 飛鳥小学校 生徒さんの地域の宝物 能登川学習に協力

寄附者からの声

寄附者： 大和信用金庫

「能登川水源の春日山、高畑流域の自然環境・清流保全とホタル育成環境の再生、地域協力、親子世代間交流事業」にご活用いただきありがとうございます。観察記録冊子を用いた啓蒙活動に期待しております。

団体名

高畑自然教室

所在地

奈良市高畑町1349

活動の様子
 (高畑自然教室のポスター)



【団体の設立経緯・目的】

春日山原生林から高畑へと流れる能登川にはホタルがいます。この自然環境を保全、未来に引き継ぎます。

【団体の主な活動の内容】

ホタル：能登川水質 里山：間伐景観形成
 花散歩：春日山動植物観察
 親子体験：間伐材木工 地域協力：行事協力

飛鳥川上流域のエコツーリズムに向けた
自然再生活動と河川調査事業

補助金額 200,000円

補助事業の背景と目的

飛鳥地域は過疎化により、里山や里地が荒廃し、二次的自然を背景に維持管理されてきた、飛鳥時代からつづく歴史的景観がなくなりつつあります。二次的自然環境を維持・再生することにより歴史的景観の保全を図ることが目的です。

補助事業の実施内容

- ①活動に参加する人員を公募により募り、「神奈備の郷」をエコツーリズムのフィールドとして活用できるかについて検討しました。
- ②人為的取り組みにより自然再生を行っていることを多くの人達に周知しました。
- ③開発後の植物生態系の再生のため、外来種駆除と自生植物の植栽を行いました。
- ④水生生物の生息調査を行い、河床生態系の状況を評価・考察しました。



▲ 植栽活動の前の挨拶と説明

補助事業の成果と今後の活動に向けて

本事業により、大和川支流飛鳥川の歴史的景観や流域環境について多くの人に関心を持っていただくことができました。

新型コロナウイルスにより、今後どのような状況になるか、予想できない環境となっています。当法人にも影響が出ており、活動を縮小せざるをえないのが現状です。



▲ 在来植物の移植活動

寄附者からの声

寄附者： 大和信用金庫

「飛鳥川上流域のエコツーリズムに向けた自然再生活動と河川調査事業」に弊金庫の寄附金をご活用いただきありがとうございました。今後ともエコツーリズムの取り組み継続をお願い致します。

<p>団体名</p>	<p>特定非営利活動法人 ASUKA自然塾</p>	<p>【団体の設立経緯・目的】</p>
<p>所在地</p>	<p>高市郡明日香村雷366-3</p>	<p>生物多様性基本法を基軸に、自然環境の保全と歴史的景観の再生を通して地域活性化をすることが目的です。</p>
<p>活動の様子 (飛鳥川での水生生物生息調査)</p>		<p>【団体の主な活動の内容】</p> <p>飛鳥川流域の、生態系保全と再生やそれらの取り組みを活用した環境教育、エコツーリズムの取り組みをしています。</p>

奈良県内未来に繋ぐ文化的機能を有する巨樹たちの健全度調査

補助金額 400,000円

補助事業の背景と目的

奈良県内北エリアにも、私たちの身近な存在である巨樹・老樹が多数あります。それらは必ずしも十分な管理がされておらず、健全だとは認められません。生育環境を確かめ、現況を調査し、公益的・文化的な観点に着目して、現状からより健全な状態で次世代に引き継ぐための対応策を提案しました。

補助事業の実施内容

調査対象木の健全度とその周辺環境の調査を、後述のスケジュールの通り実施し、必要な対応策を報告書の作成等により提案しました。実施内容は、

- ①文献、資料調査・調査方法等の方針を整理
 - ②現地の調査（7回）
 - ③調査資料取り纏め・報告書原案作成
 - ④報告書内容の現地確認・検討（4回）
 - ⑤最終報告書の作成・提出
- です。



▲ 現地調査状況：樹勢衰退、枯死大枝が見られる

補助事業の成果と今後の活動に向けて

現地調査において確認した巨樹・老樹の現状及び健全な状態で次世代に引き継ぐ提言と対応策を報告書に記載すると共に、その衰退要因の回避方法を提案しました。

また、今後の活動に向けて「樹木の健全度調査」の手法、集計方法及び、調査結果の分析考察を確立して、樹木医の立場から保護・管理のための問題点を指摘し、市町村等の指定者や所有者等関係者が理解しやすい内容となるように留意しました。人々の生活に根ざした巨樹・老樹を地域の誇りとして、市町村や住民が積極的に維持管理を行う動機づけとなれば幸いです。



▲ 現地調査状況：地際部の腐朽状態の確認

寄附者からの声

寄附者： イオングループ

奈良県内未来に繋ぐ文化的機能を有する巨樹たちの健全度調査に「古都奈良WAONカード」の寄附金を活用いただきありがとうございます。調査により巨樹・老樹を健全な形で次世代に引き継げるように今後も活動を継続してください。

団体名	樹木環境研究会議	【団体の設立経緯・目的】
所在地	奈良市平松3丁目20番14号	樹木医の知識と技術を通じて、巨樹・老樹、名木等の文化財及び、郷土の大切な自然環境の保全に貢献します。
活動の様子 （「鎮守の森」の保全活動の技術指導を行う）		【団体の主な活動の内容】
		健全で次世代に引き継ぐため、地域社会と連携し樹木文化の継承と発展を推進し、美しい環境保全に寄与します。

宇陀松山「重要伝統的建造物群保存地区」を活かした子ども山村留学事業

補助金額 400,000円

補助事業の背景と目的

「宇陀松山初市」は、継続が危ぶまれていた、重要伝統的建造物群保存地区の伝統的な行事です。しかし、県内の子どもたちが参加することによって、田舎は賑わいを取り戻すことが出来ます。また、田舎のお年寄りは指導者となって子どもたちに関わることで、生き甲斐を見つけ、元気になっていただけます。

町の子どもたちと田舎のお年寄りの共同作業を通して、『仲良く暮らせるまちづくり』の仕組みを提案したいと思い、この計画を立てました。

補助事業の実施内容

女子は、巫女となって縁起物である吉兆の販売をするために、着付け教室や茶道教室を実施しました。男子は、祭りの法被を着てお練りや踊りを披露するための練習をしました。

また、地域の歴史を学習するために、かつてこの地を治めた藩主・織田家の菩提寺をみん



▲ 紙芝居の発表

なで訪ねたり、松山城の城跡を散策したり、田植えの体験をしたりするなど、田舎でしかできないことを色々と取り入れて、楽しい内容にしました。

補助事業の成果と今後の活動に向けて

子どもたちは、計画の段階から参加したことにより、実体験を伴う深い学びが得られ、成長が見られました。また、田舎のお年寄りは、指導者としての誇りと自信を持って取り組みました。

この活動により、今後も、継続可能な『仲良く暮らせるまちづくり』のスタイルが完成したと思います。



▲ 巫女になり、販売をする女の子たち

寄附者からの声

寄附者： イオングループ

「重要伝統的建造物群保存地区」を活かした子ども山村留学事業に「古都奈良WAONカード」の寄附金を活用いただきありがとうございます。今後も継続可能な『仲良く暮らせるまちづくり』のスタイルを完成させてください。

団体名

にっこり

【団体の設立経緯・目的】

所在地

宇陀市大字陀下本2175番地

地域に伝わる伝統的な行事を継続するために結成された団体です。

活動の様子
(巫女衣装での集合写真)



【団体の主な活動の内容】

2月11日のイベント「宇陀松山初市」の開催など。

羅城門跡付近の環境改善に向けた、
文化講演会・「史跡を訪ねる」の開催

補助金額 340,705円

補助事業の背景と目的

羅城門跡は、奈良の都平城京の南の玄関で、国の第一級の遺跡ですが、現場に行っても何もないのが現状です。市民の皆様に現状を知ってもらえるように、その関連と地域の歴史を合わせて解説する、文化講演会・史跡を訪ねる催しを行いました。

補助事業の実施内容

・講演会（三の丸会館小ホール）

環境問題の話・地元の歴史（羅城門跡とその周辺）紹介・ヴァイオリン演奏会を実施しました。

・史跡を訪ねる：大和郡山市の平城京跡の探索・解説を行いました。

市三の丸会館(集合)～郡山城跡天守台(平城京跡・羅城門跡遠望)～天守台石垣に使用されている羅城門礎石の確認～郡山城ホールで羅城門復原模型見学～九条大路跡を通り羅城門跡へ(羅城門北側朱雀大路跡・南側下ツ道跡の確認)～羅城門公園(万葉碑など見学)～イオン大和郡山店駐車場羅城跡モニュメント～イオン大和郡山店(解散)

・資料『やまと郡山の平城京探索』作成：我が国の第一級の史跡、平城京羅城門跡を市民の皆様に伝えました。

・現地草刈り：催し前に羅城門跡付近の草刈りを実施しました。



▶ RI.11.17
講演会

補助事業の成果と今後の活動に向けて

講演会・史跡を訪ねる催しの実施は好評でした。

参加者は、整備された郡山城跡天守台から奈良の都平城京跡を見渡したり、羅城門跡から平城宮跡に復元した朱雀門・大極殿の屋根が重なる位置に立って、自身が朱雀大路の真ん中に居ることを実感したり、イオン大和郡山店駐車場の平城京羅城跡モニュメントを確認したりして、1300年前に完成した奈良の都平城京を偲んで頂きました。

羅城門跡の近くを流れている蟹川の整備が済み、土手部分空き地となっているので、植樹や羅城門跡らしさを活かした公園化などを提案していきたいと思っています。

羅城門跡は、地元自治会と毎年3月に清掃活動を協働で行い、清掃活動の中休みには奈良時代の話をも10～15分程毎回してきました。今後も地元自治会と連絡を取りながら活動を進めていきます。



▶ RI.12.1
羅城跡モニュメント解説

寄附者からの声

寄附者： イオングループ

羅城門跡付近の環境改善に向けた、文化講演会・「史跡を訪ねる」の開催、おめでとうございます。「古都奈良WAONカード」の寄附金を活用いただきありがとうございます。今後も引き続き清掃活動を進めていただきようお願いします。

団体名 やまと郡山環境を良くする市民の会

所在地 大和郡山市小泉645-88

活動の様子
(普段の活動の「コマ・七曲道」整備)



【団体の設立経緯・目的】

市の環境基本計画づくり参加者等で2002年に設立、環境が良くなったと言える街づくり活動を行います。

【団体の主な活動の内容】

緑豊かな街づくり活動・河川敷に花壇づくり・草刈り・清掃活動・古道「七曲道」の整備・羅城門跡活用など。

つたえる～古の能楽から現代のクリエイターに学ぶ～イベントの実施

補助金額 400,000円

補助事業の背景と目的

奈良、田原本町と能楽の関わりを多くの人に知ってもらい、能楽を地域で復活させ次世代へ継承しています。伝統文化の素晴らしさを子どもだけでなく大人も一緒に再認識してもらうため、商工会に協力して頂き、地域と協力し合っ、能楽を含む伝統文化を多世代で楽しむ場を定着させることが目的です。また、それによって、次世代への能楽の継承を促していきます。

補助事業の実施内容

<青垣生涯学習センター 弥生の里ホール>

- ・子ども能楽披露
- ・敦盛の語りパフォーマンス
- ・能楽師7名による田原本町の地名「十六面」ゆかりの「敦盛」の実演。
- ・「和」のキッズファッションショーとのコラボ。
- ・無料能楽体験（能面体験・小鼓体験・大鼓体験・太鼓体験・笛体験）
- ・落語パフォーマンス



▲ 能楽師の実演「敦盛」と子ども能楽発表

<ホール外のホワイエ部分などによるマルシェ>

- ・様々な分野における体験型ワークショップ
- ・田原本町商工会の協力による、匠の体験型ワークショップの実施
- ・三味線に合わせた書道パフォーマンスとふんどしパフォーマンスの実施



▲ マルシェの参加者集合写真

補助事業の成果と今後の活動に向けて

令和2年度も同じ形でイベントを考えていたのですが、新型コロナウイルスの影響により無観客の配信型イベントに変更し、継続していく予定です。

寄附者からの声

寄附者： イオングループ

つたえる～古の能楽から現代のクリエイターに学ぶ～イベントの実施に「古都奈良WAONカード」の寄附金を活用いただきありがとうございます。次世代を担う子どもを中心とした、継続できるイベントを期待しております。

団体名 伝統文化を次世代へつたえる会

所在地 磯城郡田原本町秦庄284-1

活動の様子
(普段の能楽教室の様子)



【団体の設立経緯・目的】

教室、遊び、ワークショップ等の形で日本の文化・伝統を継承または復活し、郷土愛と共に次世代へつなぐ

【団体の主な活動の内容】

こども能楽教室の実施や、浴衣・和菓子・畳等のワークショップの実施

休耕農地を利用した果樹園づくり

補助金額 100,000円

補助事業の背景と目的

子ども会が解散するほど少子化が進んだ村落には、農業従事者が多くいます。そこで子どもたちのために休耕田を開墾し、桜木を植えて古墳池を造成、児童公園を造りました。その管理に子供会を再興し、村から出た地縁者や血縁者である里帰りの人たちと合わせて「こども桜守」をつくりました。そして、桜苑、果樹園、古墳池の管理などの営農技術や知識を、親から子、孫へと遊びの中で継承することを目的としました。

補助事業の実施内容

- 夏 草刈や防獣フェンスの設置、防草シート張りをし、お昼はヨモギの草餅を作って試食会をしました。食べられる植物や毒のある植物を学びました。大人は日を改めて史跡道の保全活動を実施しました。
- 秋 ハロウィンでお友達の家を訪ね歩き、お菓子をたくさんもらいました。お昼過ぎに草刈、改修された古墳池で手足を洗いながら、夕方は花火会をしました。
- 冬 新しい果樹を植えて、クリスマス会では一人一個のマイケーキを作りました。大人は道作りと害獣駆除をしました。



▲ 友達の家を知る（ハロウィンと花火会）

補助事業の成果と今後の活動に向けて

令和元年は天候不順で作物の生りが悪く、獣害もひどかったのですが、古老から「山の幸は一つは山の神様に、もう一つは山の生き物に、残ったものが自分の物」という里山の達観を学びました。また、獣害で果樹園の一部が崩れた時には、「土手下に畑を作る時は、石積みをするもんだ」と皆に石の寄付を声掛けてくれました。自然石が集まれば椿井城跡を石垣にして百年の史跡公園を子孫に残せることでしょう。



▲ 防草シート、防獣フェンスはり

ひとこと

青少年・社会活動推進課

世代間の交流と、地域の自然を大切にする思いの醸成という観点から大変意義のある事業であったかと存じます。今後も地域の子どもたちに対する学びの提供者として活動に取り組まれることを期待します。

団体名

特定非営利活動法人うぶすな企画

【団体の設立経緯・目的】

所在地

生駒郡平群町椿井1360番地

文化の発展や地域おこしをするためにイベントを企画・開催します。また他の文化活動を支援します。

活動の様子
(完成した古墳池の親水公園)



【団体の主な活動の内容】

平群町椿井史跡群の周知と保護のため、椿井出城跡に桜を植え、古墳池を整備して史跡公園を作っています。

奈良県無形民俗文化財「吐山太鼓踊り」後継者育成事業

補助金額 100,000円

補助事業の背景と目的

室町時代末期から伝承されている「吐山太鼓踊り」は、雨乞いが行われなくなった現在、保存会組織で保存・継承しています。

しかし、若者の都市部流出と少子化が進むにつれ地域の育成要員は減少傾向にあります。そうした現況を考えると、青少年を組織化し育成していくことが継承のための喫緊の課題となっています。

本事業は、「吐山太鼓踊り」の保存・継承活動の未来を担う核になるものと位置づけています。

補助事業の実施内容

- 太鼓踊り練習会 全9回
7月6日、7月20日、8月3日、8月17日、9月7日、9月21日、10月19日、10月26日、11月16日
- 「つげまつり」で発表 11月3日(都祁交流センター)
- 「フォレスト・フェスタin都祁吐山2019」で発表 11月9日(奈良県立野外活動センター)
- 吐山秋祭りで発表 11月23日(下部神社)

▶ つげまつりで太鼓踊りを発表する子どもたち



◀ 秋祭りでも太鼓踊りを発表(下部神社)

補助事業の成果と今後の活動に向けて

小学生のクラブには、18名が参加しました。その内15名は旧吐山小校区の子どもたちで、地区の全児童の半分です。吐山小時代を知らない低学年が5名いることから、地域にしっかりと根付いていると感じています。ヤングクラブからは7名の中学生と1名の高校生が参加しました。受験を控えた中学3年生が活動を続けてくれたことは、子どもたちの励みになりました。

こうして地域の小学生、中学生、高校生、大人が一体となって練習し、演じることを通して、世代間の良い繋がりが構築されています。また、中学生が小学生の練習をサポートし、保存会メンバーが中・高生に技術指導する態勢が定着しており、それが地域の財産になりつつあります。

また、積極的に発表の場を設けたことで、子どもたちの励みになるとともに、広く吐山地区以外の人たちに吐山太鼓踊りを知っていただける機会となりました。

吐山は広い都祁校区の南端に位置しているため、他地区からの参加者が限られるあるいは継続しない一因になっています。また、ヤングクラブに登録している高校生と大学生は7名いますが、クラブ活動やアルバイトなどで参加しにくい現実があります。これら一度できた「縁」をいかに繋いでいくかが課題であり、継承活動の将来を決するものと考えています。

ひとこと

青少年・社会活動推進課

伝統芸能の継承活動を通じて地域での交流が深まることにより、希薄になりがちである、世代間の繋がりを構築できたのではないかと存じます。今後も地域での活動を継続されることを期待します。

団体名	吐山太鼓踊り保存会	【団体の設立経緯・目的】
所在地	奈良市都祁吐山町 下部人神社内	伝統的郷土芸能である吐山太鼓踊りの保存、継承を目的として1984年に設立されました。
活動の様子 (三世代協演・吐山太鼓踊り)		【団体の主な活動の内容】
		○月例の練習会および文化祭行事・秋祭り等での発表 ○歴史資料や過去の新聞報道等の保存および展示

NaFu! 国際交流Summer Camp 2019

補助金額 100,000円

補助事業の背景と目的

奈良県曽爾村の大自然の中で、国を越え言葉を越えた交流により、コミュニケーションの大切さや楽しさを発見するExcitingな1泊2日のキャンプをしました。未来に向かう若者たちの勇気と英語力を増進させ、青少年が一堂に会してふれあい、一歩飛び出すきっかけを作ることが目的です。

補助事業の実施内容

1, ゲストのプレゼンテーション

○高田 勝子(助産師)「ガーナの冒険」

○ポールバーネット(Paul Barnett、オーストラリアキャンベラ市在住建築家)「子供たちの健全なバイオミクリー環境・遊び・学び・成長」について

2, 曽爾高原お亀池周辺散策

3, 日本人参加者：英語で日本文化についての発表
(テーマ：華道、日本拳法、紙鉄砲、風呂敷、奈良の仏像、書道、居合道、小鼓、成人式他)

4, Let's dance 講師：喜多誠順

5, おもしろ世界発見：外国人参加者による母国の紹介プレゼンテーション

6, 日本文化体験：折り紙制作(すわり鹿)

7, NaFu!地球ラジオ：9ヶ国の参加者に同じ質問に答えてもらい、文化の違いや生活習慣の違いなど発見するコーナー

8, グループ発表：5つのグループが、それぞれのミッションについてミーティングし、完成させ発表



▲ サマーキャンプグループ発表の様子

補助事業の成果と今後の活動に向けて

日本人参加者は、事前に英語による日本文化の発表の準備をして参加したため、日本文化の再発見や英語学習に、また外国人参加者は、事前の母国紹介のプレゼン資料作成のため、母国の文化の再発見に繋がったと思われます。グループ発表では、それぞれのグループに与えられたミッションにより、参加者たちが話し合いを重ね、親密な交流ができていました。

ゲストプレゼン、高田勝子さんからはガーナの医療の実情、ポールバーネットさんからは生きがいを持って生きることの大切さを学びました。9ヶ国の文化はそれぞれに違いますが、国を越え言葉を越え、さらに年代も越えて友情を培い、世界の平和を願う良い機会となり、参加者は一回り大きく成長したと思われます。このような活動をぜひ継続して実施していきたいと思えます。



▲ サマーキャンプ参加者(外国人10名を含む)

ひとこと

青少年・社会活動推進課

グローバル化が進む中、参加者は活動を通じて英語力の向上や外国の魅力を知るだけでなく、日本文化の魅力の再発見に繋がる良いきっかけになったかと存じます。今後も国際交流の促進活動を継続してください。

団体名

特定非営利活動法人
国際交流ならふれあいの会

所在地

奈良市法蓮町985番地の6

活動の様子
(NaFu!ふれあ
いCooking)



【団体の設立経緯・目的】

社会・地域連携の国際交流の促進、日本文化の再認識や知的好奇心の向上に寄与することを目的としています。

【団体の主な活動の内容】

以下の3つを活動の柱としています。

○ホームステイの受入

○青少年夢支援 ○国際理解・協力

おひさま20周年イベント クリスマスコンサート

補助金額 100,000円

補助事業の背景と目的

当法人は法人として設立する以前より、地域のつながりやみんなにやさしいまちづくりを目指して、障がい児支援・子育て支援・レクリエーション支援・地域交流に関する活動を行ってきました。そして、令和元年度は、活動を始めてから20年という節目の年になりました。

その20周年イベントとして、改めて障がいのある人や子ども達が地域の人々と共に音楽や遊びを通じて、異なる世代間との交流や相互の理解を深めることを目的に、クリスマスコンサートを開催しました。

補助事業の実施内容

令和元年12月22日(日)「おひさま20周年イベントクリスマスコンサート」(桜井市民会館)

○一部：20年間の活動内容や様子を、その時々生まれたオリジナルソングをバンドで生演奏しながら、スライドショーによりたどり、おひさまひろばの20年を振り返りました。

○二部：ファミリーコンサートを実施しました。参加者の方に一緒に舞台上で参加してもらったり、客席にキャストや着ぐるみが遊び歌で触れ合いに行ったり、大きな風船を何十個も舞台から客席に飛ばしたり



▲ みんなの笑顔と歌とゆめ色風船で会場一杯に

して、会場全体が夢の世界となるような空間づくりをしました。

補助事業の成果と今後の活動に向けて

おひさまひろばに関わるスタッフをはじめ、20年間様々なイベントと一緒に盛り上げてきてくれたボランティアスタッフ約100人の協力のもと、バンド演奏や音楽を通し、歌ったり踊ったりゲームをしたりして、楽しい時間を過ごせました。当事業所の利用者や関係者、一般の方等、約300名の方にご来場いただきました。ダウン症協会や他の事業所の方の参加も多く、一緒に音楽を楽しんでいただきました。

音楽を通して、一人一人の違いを越えて心が一つになるような活動を今後も続けていきたいと思っています。たくさんの方の心を繋げていきたいです。



▲ 一人一人笑顔の花が咲く陽だまりの場所に

ひとこと

青少年・社会活動推進課

障がいのある人や子どもたちが楽しめるクリスマスコンサートは、保護者や地域の人々にとっても優しく親しみやすいものであったのではないかと存じます。今後も異なる立場・世代での交流が進み、お互いの理解が深まるような活動を継続してください。

団体名	特定非営利活動法人 おひさまひろば	【団体の設立経緯・目的】 地域のつながり・みんなにやさしいまちづくりを目指し、理解し合える場所・心を寄せ合う仲間づくり
所在地	桜井市大字河西239番地の6	
活動の様子 (おひさまコンサートキャストメンバー)		【団体の主な活動の内容】 障がい児支援事業、家庭的保育園、子育て支援活動、レクリエーション支援活動、地域交流活動

夏休みスポーツ&スタディ教室

補助金額 100,000円

補助事業の背景と目的

運動の基本的な動作を身につけるとともに、体力向上をはかりながら、子どもたちがスポーツの楽しさを知る取り組みを行いました。様々な体験学習では語学や創作活動、自然や環境教育など楽しみながら知識を習得し、夏休みに子どもたちが有意義な時間を過ごせる場づくりとして各種教室を開催しました。

補助事業の実施内容

- スポーツ教室（テニス、バドミントン、水泳）
- スタディ教室（算数ドリル、国語ドリル、サイエンス、書道、絵画、工作、音楽）
- 体験学習（里山活動、書道、防災ワークショップ、防犯110番）



▲ スタディ教室（サイエンス）

補助事業の成果と今後の活動に向けて

地域講師をお招きし、子どもたちへスポーツやスタディ、体験活動の楽しさを感じてもらうことを大切にしながらプログラムを組み立てました。この活動で子どもたちはルールや集団行動を学び、体力向上の成果も得られました。また、創作意欲も高まり、創作による表現も上手にできるようになったと思われます。



▲ 水泳教室

ひとつこと

青少年・社会活動推進課

夏休みということで、多くの子どもたちがスポーツや文化活動、体験活動を行い、普段と異なる経験を得ることができたかと存じます。今後もスポーツや文化活動を通じて、地域の子どもの健康促進、青少年の健全育成に取り組まれることを期待します。

団体名	一般社団法人 くまがしクラブ	【団体の設立経緯・目的】
所在地	生駒郡平群町福貴72 「平群町総合スポーツセンター」内	地域住民が自発的にスポーツを楽しみ、健康・体力を維持し、地域社会の連帯と明るく豊かな生活の実現に寄与しスポーツの振興及び普及を図る
活動の様子 (くまがしクラブ)		【団体の主な活動の内容】
		定期的な運動・スポーツ及び文化活動 子どもの体力づくり及び健全育成を図る活動 競技力向上を目指す教室の開催 地域コミュニティ活性化につながる事業

「家族へ感謝プロジェクト」～今、ありがとうを伝えよう！～

補助金額 100,000円

補助事業の背景と目的

家族の在り方が多様化する今日だからこそ、子どもが生きる基盤である家庭、家族、あるいはそれに代わる保護者との愛と信頼と感謝の関係を大切に考えたいものです。

このプロジェクトは、子どもたちの気持ちを応募用紙に書くことで改めて家族に伝え、家庭の絆やつながりを考え、自分を支えてくれている人たちへの感謝の心をはぐくむことを目的としています。

補助事業の実施内容

令和元年7月1日～令和元年12月31日まで、天理市と大和郡山市の小学3・5年生を対象に、応募用紙に家族やお世話になった人への感謝の気持ちを記載してもらい、郵送して伝えてもらいました。そして応募内容の審査を行い、優秀作品の製本並びに表彰式を開催しました。



▲ 天理市表彰式

補助事業の成果と今後の活動に向けて

感謝の気持ちを応募用紙で家族やお世話になった人に伝えることで、自分を支えてくれている人たちへの感謝の心をはぐくみ、地域、学校、家庭での道徳教育の一助になっています。

学校現場においても好印象を得ていますので、今後もこの活動を続けていく予定です。



▲ 大和郡山市表彰式

ひとこと

青少年・社会活動推進課

家族や周囲の人との関係が複雑化している中、子どもたちが、家族やお世話になっている人との関係を改めて考えるきっかけになったかと存じます。今後も地域、学校、家庭での道徳教育の一助となる活動であることを期待します。

団体名 奈良県モラロジー協議会

所在地 奈良市東紀寺町2丁目3番22号

活動の様子
(モラロジー
生涯学習セ
ミナー)



【団体の設立経緯・目的】

1926年に法学博士廣池千九郎が創立し一貫して人間性、道徳性を育てる「累代教育」を提唱しています。

【団体の主な活動の内容】

「家族へ感謝プロジェクトプロジェクト」を県下12市町村で、「生涯学習セミナー」を県下14事務所で開催しています。